

第4章 用紙の取扱い

本章では、以下の方法について説明します。

- 印刷媒体の選択
- 以下への印刷媒体のセット
 - 500 枚 A4/レター・トレイ
 - 500 枚 A3/レジャー (11 x 17) トレイ
 - 150 枚補助トレイ
 - 封筒トレイ
 - 2000 枚入力ドロワー
- ヨウシメニューを使用して、トレイの切り替えをオンまたはオフにするか、プリンターの省略時トレイおよび用紙サイズを指定します。

注:

1. プリンター・メニューはトレイを次のように認識します。
 - トレイ 1 は、標準の 500 枚入力トレイです。500 枚トレイは、A4/レター・サイズでも A3/レジャー (11 x 17) サイズでも構いません。
 - トレイ 2 およびトレイ 3 は、オプションの入力トレイです。追加の 500 枚トレイを 1 つまたは 2 つ、追加の 500 枚トレイを 1 つと 2000 枚入力ドロワー、または 2000 枚入力ドロワーだけを取り付けることができます。追加トレイを 1 つ取り付ける場合は、トレイ 2 です。追加トレイを 2 つ取り付ける場合、中央のトレイはトレイ 2 で、下部のトレイはトレイ 3 です。2000 枚入力ドロワーは、一番下のトレイである必要があります。
 - ホジョトレイは、プリンターの前面にあるフリップダウン・トレイです。
 - 用紙トレイを封筒トレイで置き換える場合、封筒トレイがどの用紙トレイを置き換えるかに応じて、プリンターは封筒トレイをトレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 として認識します。
2. 印刷ジョブで指定された値は、通常、プリンターで設定された省略時値を上書きします。たとえば、印刷ジョブがメイン用紙トレイ (トレイ 1) を要求する場合、省略時のトレイがほかのどれかに設定されていた場合であっても、プリンターはメイン用紙トレイを使用します。
3. ヨウシメニューのトレイ・スイッチ項目がオンである場合、現行のトレイが空であるか、間違ったサイズ用紙が入っていると、プリンターは別のトレイにある正しい用紙を自動的に探します。59ページの『トレイ切り替えのオンおよびオフ』を参照してください。

用紙およびその他の印刷媒体の選択

重要

以下の項でリストする仕様に適合する印刷媒体を使用してください。適合しない印刷媒体を使用すると、印刷枚数が低下し、ジャムの原因となり、プリンターを損傷する場合があります。

以下の項では、印刷媒体の選択に関する情報を記載します。

- 33ページの『ラベルおよびプロジェクター用フォイルの選択』
- 33ページの『補助トレイの用紙仕様』
- 35ページの『A4/レター・トレイの用紙仕様』
- 36ページの『A3/レジャー (11 x 17) トレイの用紙仕様』
- 37ページの『封筒トレイの用紙仕様』
- 37ページの『2000 枚入力ドロワーの用紙仕様』

注:

1. 以下の媒体重量がサポートされています。
 - 用紙トレイ: 60 ~ 105 g/m²
 - 封筒トレイ: 60 ~ 105 g/m²
 - 補助トレイ:
 - 用紙、ラベル、プロジェクター用フォイル、封筒: 60 ~ 135 g/m²
 - 官製はがき: 190 g/m²
 - 2000 枚入力ドロワー: 60 ~ 105 g/m²
2. 以下のタイプの用紙および印刷媒体はプリンターで使用しないでください。
 - 複数枚コピーの用紙
 - ステープル止めした用紙、折り畳んだ用紙、またはしわのある用紙
 - つるつるした用紙またはコート紙
3. プロジェクター用フォイルまたはラベルを印刷するには補助トレイを使用してください。これらのタイプの印刷媒体は用紙トレイからは送らないでください。33ページの『ラベルおよびプロジェクター用フォイルの選択』を参照してください。
4. 一部の再生用紙は、紙のほこりを出し、それが累積して、紙詰まりが頻繁に発生し、サプライ用品の寿命を短くすることがあります。
5. 湿度が高いと、用紙が損傷することがあります。用紙は、低温で乾燥した所に保管するようにしてください。

ラベルおよびプロジェクター用フォイルの選択

ラベルおよびプロジェクター用フォイルは、補助トレイにのみセットすることができます。

ラベル

ラベルを使う場合のプリンターのパフォーマンスは、次のものによって異なります。

- ラベル・ストックの重量
- ラベル・ストックの構成材料 (裏紙、粘着剤、表面ストック)
- ミシン目

プリンターの損傷は、適合しないラベル・ストックの使用から生じることがあります。このため、ラベル・ストックがレーザー・プリンターに適合しているか、またラベルがフューザー内で 235°C の温度にさらされたときにはがれたり、移動したりしないかラベル・メーカーに問い合わせを確認してください。ラベルを使用する前に、ラベル・ストックのサンプル・シートをテストして、以下のことが起きないことを確認してください。

- ラベルがはがれるか、位置を移動する
- ラベル・ストックに印刷している間に、プリンターから変なにおいが発生する
- トナーがラベルの表面に正しく付着しない
- ラベルの粘着剤でプリンターが汚れる

上記のいずれかが発生する場合には、プリンターでそのラベル・ストックを使用しないでください。ラベルの供給業者にプリンターに適合するラベル・ストックを発注してください。

プロジェクター用フォイル

プリンターの損傷は、適合しないプロジェクター用フォイルの使用から生じることがあります。このため、プロジェクター用フォイルがレーザー・プリンターに適合するか、また 235°C までのフューザー温度に耐えることができるか、プロジェクター用フォイルのメーカーに問い合わせを確認する必要があります。プロジェクター用フォイルを使用する前に、プロジェクター用フォイルのサンプル・シートをテストして、以下のことが起きないことを確認してください。

- プロジェクター用フォイルがプリンター内で詰まる
- プロジェクター用フォイルの表面にトナーが正しく付着しない
- プロジェクター用フォイルの印刷中にプリンターから変なにおいが発生する
- プロジェクター用フォイルがフューザー内で溶ける

上記のいずれかが発生する場合には、プリンターでそのプロジェクター用フォイルを使用しないでください。プロジェクター用フォイルの供給業者にプリンターに適合するプロジェクター用フォイルを発注してください。

補助トレイの用紙仕様

スタイル	サイズ	両面印刷	短エッジの 送り (SEF)	長エッジの 送り (LEF)
用紙				
レター	8.5 x 11 in 215.9 x 279.4 mm	Yes	Yes	Yes
リーガル	8.5 x 14 in 215.9 x 355.6 mm	Yes	Yes	No
フォリオ	8.5 x 13 in 215.9 x 330.2 mm	Yes	Yes	No
11 x 17	11 x 17 in 279.4 x 431.8 mm	Yes	Yes	No
A4	8.27 x 11.69 in 210 x 297 mm	Yes	Yes	Yes
B5-JIS	7.16 x 10.12 in 182 x 257 mm	No	Yes	Yes
B4	10.12 x 14.33 in 257 x 364 mm	Yes	Yes	No
A5	5.85 x 8.27 in 148.5 x 210 mm	No	No	Yes
A3	11.69 x 16.54 in 297 x 420 mm	Yes	Yes	No
Executive	7.25 x 10.25 in 184.2 x 266.7 mm	No	No	Yes
Statement	5.5 x 8.5 in 139.7 x 215.9 mm	No	No	Yes
カスタム用紙	最小: 3.5 x 5.8 in 88 x 148 mm 最大: 13 x 20 in 330 x 508 mm	No	Yes	No
封筒およびはがき				
官製はがき	3.94 x 5.83 in 100 x 148 mm	No	Yes	No
Monarch	3.875 x 7.5 in 98.4 x 190.5 mm	No	Yes	No
COM10	4.125 x 9.5 in 104.8 x 241.3 mm	No	Yes	No
C5	6.38 x 11.77 in 162 x 229 mm	No	Yes	No

スタイル	サイズ	両面印刷	短エッジの送り (SEF)	長エッジの送り (LEF)
DL	4.33 x 8.66 in 110 x 220 mm	No	Yes	No
カスタム封筒	最小: 3.5 x 5.8 in 88 x 148 mm 最大: 13 x 20 in 330 x 508 mm	No	Yes	No

A4/レター・トレイの用紙仕様

注: InfoPrint 20 は、2つの省略時の用紙グループ、LTR (レター) および A4 をサポートしています。それらはそれぞれ、少し異なる用紙サイズ・セットをサポートしています。米国およびカナダで出荷時設定の省略時値である LTR 用紙グループには、Executive および Statement の用紙サイズが含まれますが、B5-JIS または A5 は含まれていません。欧州およびアジアで出荷時設定の省略時値である A4 グループには、A5 および B5-JIS が含まれていますが、Executive または Statement は含まれていません。

用紙の省略時値をリセットするには、以下のいずれかを実行します。

- A4 用紙グループの場合は、印刷取消キーを押しながら、プリンターの電源を入れます。
- LTR 用紙グループの場合は、オンライン・キーを押しながら、プリンターの電源を入れます。

用紙グループをリセットすると、すべてのメニュー値は出荷時設定の省略時値に復元されます。したがって、リセットを行う前にプリンターの構成ページを印刷し、必要に応じて古い設定値を復元できるようにすることをお勧めします。

スタイル	サイズ	LTR 用紙グループ			A4 用紙グループ		
		両面印刷	SEF	LEF	両面印刷	SEF	LEF
レター	8.5 x 11 in 215.9 x 279.4 mm	Yes	Yes	Yes	Yes	No	Yes
A4	8.27 x 11.69 in 210 x 297 mm	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes
B5-JIS	7.16 x 10.12 in 182 x 257 mm	サポートされていません			No	No	Yes
A5	5.85 x 8.27 in 148.5 x 210 mm	サポートされていません			No	No	Yes
Executive	7.25 x 10.25 in 184.2 x 266.7 mm	No	No	Yes	サポートされていません		

スタイル	サイズ	LTR 用紙グループ			A4 用紙グループ		
		両面印刷	SEF	LEF	両面印刷	SEF	LEF
Statement	5.5 x 8.5 in 139.7 x 215.9 mm	No	No	Yes	サポートされていません		

A3/レジャー (11 x 17) トレイの用紙仕様

注: InfoPrint 20 は、2 つの省略時の用紙グループ、LTR (レター) および A4 をサポートしています。それらはそれぞれ、少し異なる用紙サイズ・セットをサポートしています。米国およびカナダで出荷時設定の省略時値である LTR 用紙グループには、Executive および Statement の用紙サイズが含まれますが、B5-JIS または A5 は含まれていません。欧州およびアジアで出荷時設定の省略時値である A4 グループには、A5 および B5-JIS が含まれていますが、Executive または Statement は含まれていません。

用紙の省略時値をリセットするには、以下のいずれかを実行します。

- A4 用紙グループの場合は、印刷取消キーを押しながら、プリンターの電源を入れます。
- LTR 用紙グループの場合は、オンライン・キーを押しながら、プリンターの電源を入れます。

用紙グループをリセットすると、すべてのメニュー値は出荷時設定の省略時値に復元されます。したがって、リセットを行う前にプリンターの構成ページを印刷し、必要に応じて古い設定値を復元できるようにすることをお勧めします。

スタイル	サイズ	LTR 用紙グループ			A4 用紙グループ		
		両面印刷	SEF	LEF	両面印刷	SEF	LEF
レター	8.5 x 11 in 215.9 x 279.4 mm	Yes	Yes	Yes	Yes	No	Yes
リーガル	8.5 x 14 in 215.9 x 355.6 mm	Yes	Yes	No	Yes	Yes	No
フォリオ	8.5 x 13 in 215.9 x 330.2 mm	Yes	Yes	No	Yes	Yes	No
11 x 17	11 x 17 in 279.4 x 431.8 mm	Yes	Yes	No	Yes	Yes	No
A4	8.27 x 11.69 in 210 x 297 mm	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes
B5-JIS	7.16 x 10.12 in 182 x 257 mm	サポートされていません			No	No	Yes
B4	10.12 x 14.33 in 257 x 364 mm	Yes	Yes	No	Yes	Yes	No

スタイル	サイズ	LTR 用紙グループ			A4 用紙グループ		
		両面印刷	SEF	LEF	両面印刷	SEF	LEF
A5	5.85 x 8.27 in 148.5 x 210 mm	サポートされていません			No	No	Yes
A3	11.69 x 16.54 in 297 x 420 mm	Yes	Yes	No	Yes	Yes	No
Executive	7.25 x 10.25 in 184.2 x 266.7 mm	No	No	Yes	サポートされていません		
Statement	5.5 x 8.5 in 139.7 x 215.9 mm	No	No	Yes	サポートされていません		

封筒トレイの用紙仕様

スタイル	サイズ	両面印刷	短エッジの送り (SEF)	長エッジの送り (LEF)
Monarch	3.875 x 7.5 in 98.4 x 190.5 mm	No	Yes	No
COM10	4.125 x 9.5 in 104.8 x 241.3 mm	No	Yes	No
C5	6.38 x 11.77 in 162 x 229 mm	No	Yes	No
DL	4.33 x 8.66 in 110 x 220 mm	No	Yes	No

2000 枚入カドローの用紙仕様

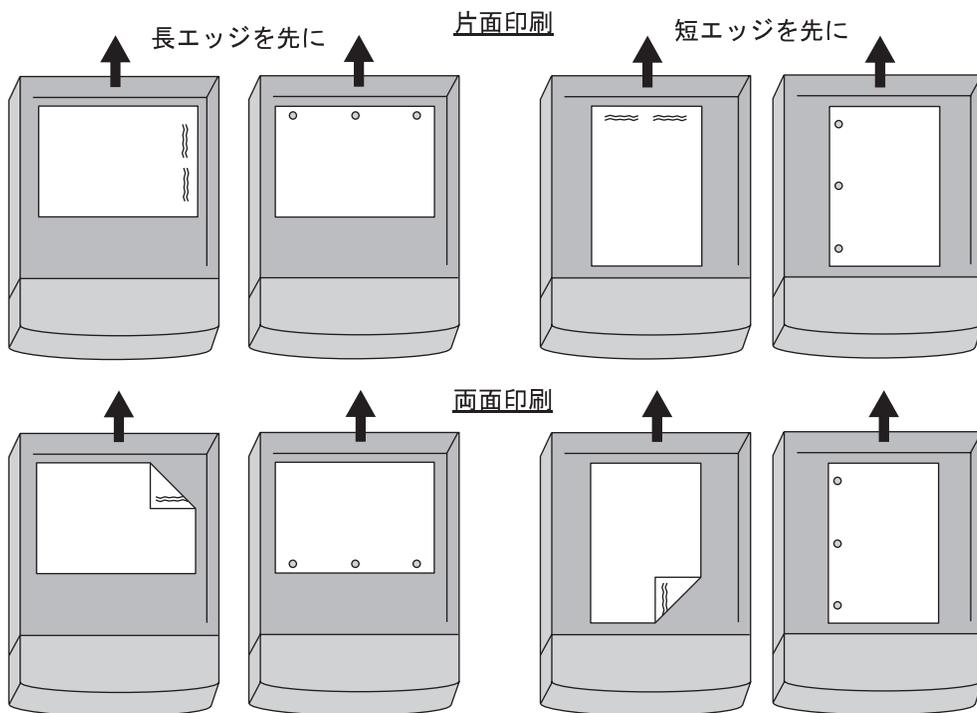
スタイル	サイズ	両面印刷	短エッジの送り (SEF)	長エッジの送り (LEF)
レター	8.5 x 11 in 215.9 x 279.4 mm	Yes	No	Yes
A4	8.27 x 11.69 in 210 x 297 mm	Yes	No	Yes

印刷媒体のプリンターへのセット

プリンターに用紙を追加できるのは、プリンターがオフであるか、オフラインであるか、インサツカノウ メッセージが表示されているときです。プリンターが選択された用紙トレイ内のすべての用紙を使いきると、メッセージ表示域に11ペーパーサイズヲ トレイ ニ ロード が表示されます。ここで、ペーパーサイズは必要な用紙のサイズで、トレイは空になったトレイです。

レターヘッド用紙および穿孔用紙のセット

このプリンターでは、穿孔用紙および事前印刷用紙（レターヘッドや番号付きの用紙など）のいずれにも印刷することができます。次の図では、これらのタイプの用紙をセットする方法を示しています（図は補助トレイおよび500枚トレイに適用されます）。



hc2u448F

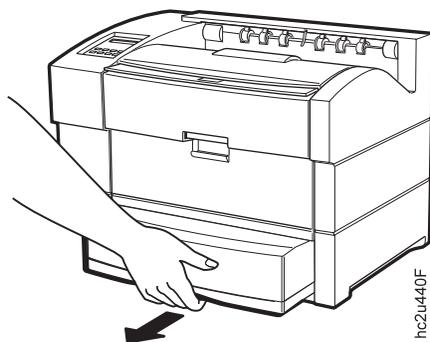
A4/レター用紙トレイへのセット

注

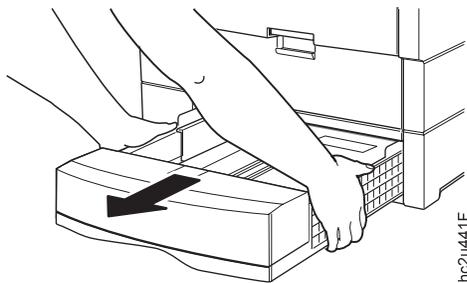
1. A3/レジャー (11 x 17) トレイにセットする場合は、42ページの『A3/レジャー (11 x 17) 用紙トレイへのセット』を参照してください。
2. 多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

500 枚用紙トレイを選択するには、トレイの位置に応じてソースをトレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 に設定してください (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

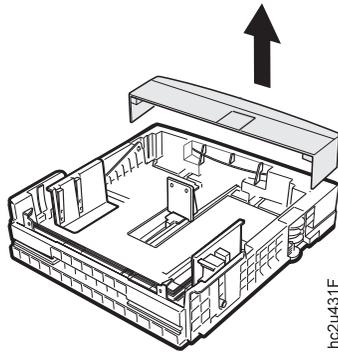
1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 35ページの『A4/レター・トレイの用紙仕様』を参照してください。
2. トレイを引き出し、トレイが停止するまで引きます。



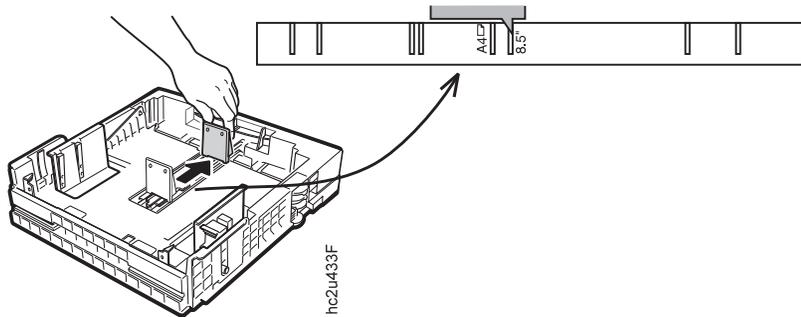
3. トレイを静かに持ち上げ、プリンターから取り外します。トレイを平な台の上に置きます。



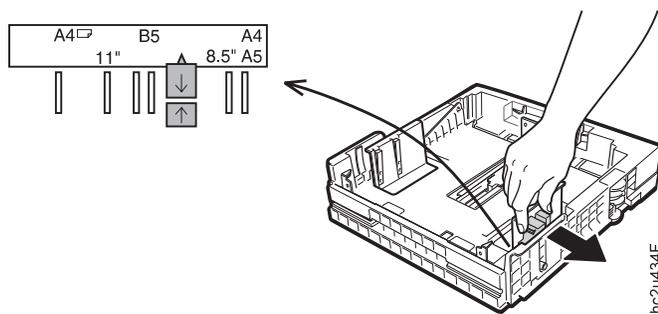
4. トレイ・カバーを取り外します。



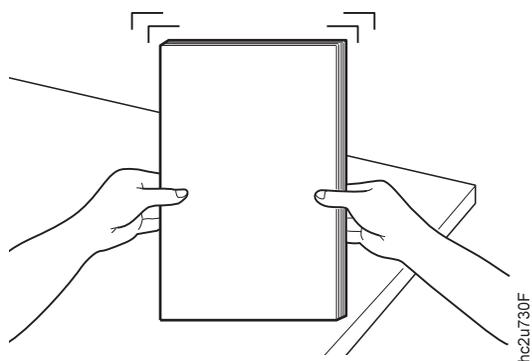
5. 長さガイドを指で静かに挟んで、持ち上げ、用紙サイズの位置までずらしします。トレイの底にあるガイド・ホールにガイドがしっかりロックされているか確認します。



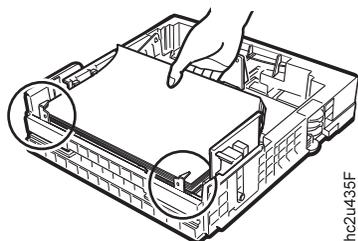
6. サイド・ガイドを指で静かに挟み、用紙サイズの位置までずらしします。



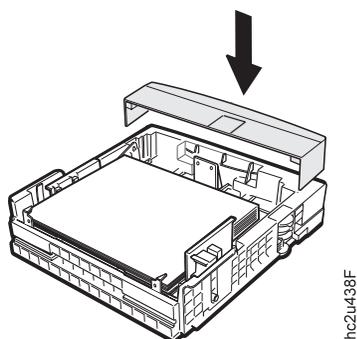
7. 用紙のスタックを準備します。用紙の上部が正しくそろっていることを確認します。



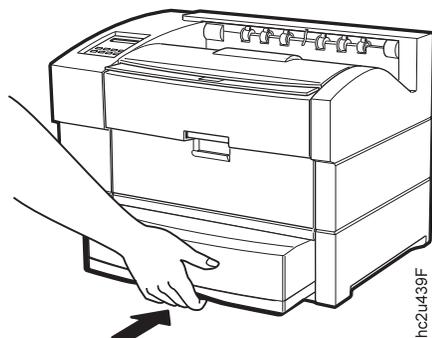
8. 用紙をトレイに挿入します。用紙をすべての留めクリップの下に置くようにします。



9. トレイ・カバーを再び取り付けます。



10. トレイをプリンターに押し入れ、カチッと音がして定位置にはまるまで押します。



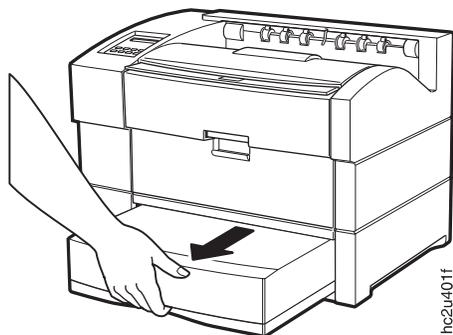
A3/レジャー (11 x 17) 用紙トレイへのセット

注

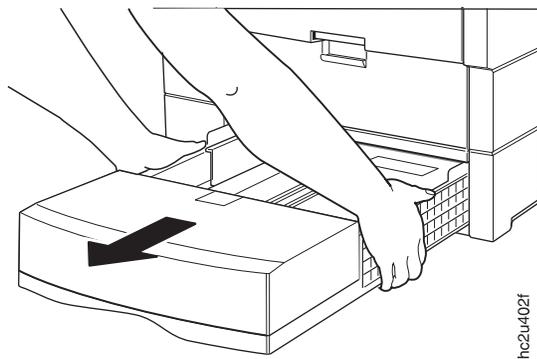
1. A4/レター・トレイにセットするには、38ページの『A4/レター用紙トレイへのセット』を参照してください。
2. 多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

500 枚用紙トレイを選択するには、トレイの位置に応じてソースをトレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 に設定してください (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 36ページの『A3/レジャー (11 x 17) トレイの用紙仕様』を参照してください。
2. トレイを引き出し、トレイが停止するまで引きます。

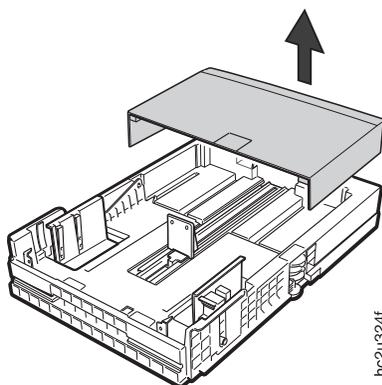


3. トレイを静かに持ち上げ、プリンターから取り外します。トレイを平な台の上に置きます。



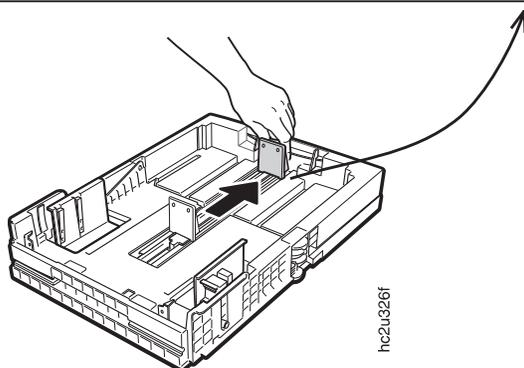
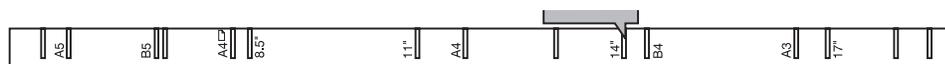
hc2u402f

4. トレイ・カバーを取り外します。



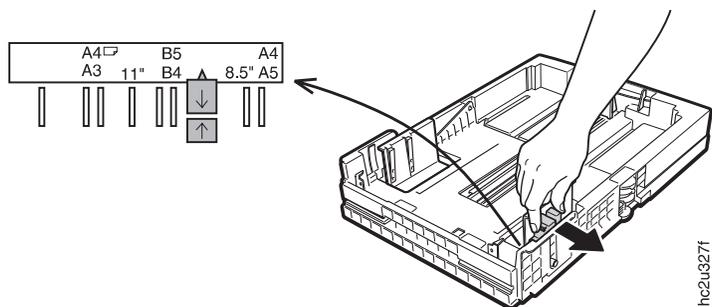
hc2u324f

5. 長さガイドを指で静かに挟んでから、持ち上げ、用紙サイズの位置までずらしします。トレイの底にあるガイド・ホールにガイドがしっかりロックされているか確認します。



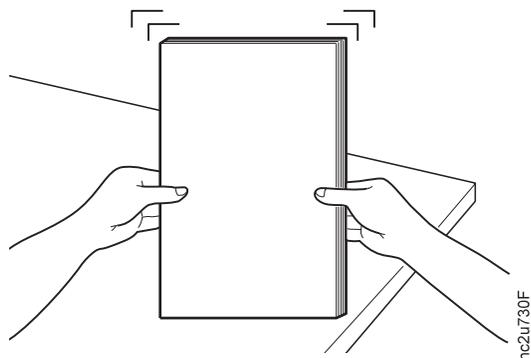
hc2u326f

6. サイド・ガイドを指で静かにはさみ、用紙サイズの位置までずらしします。



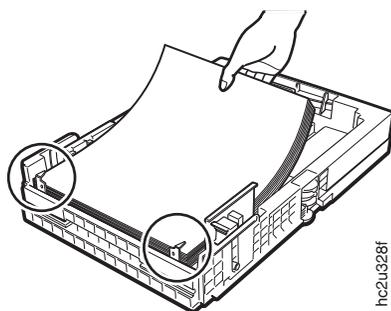
hc2u327f

7. 用紙のスタックを準備します。用紙の上部が正しくそろっていることを確認します。



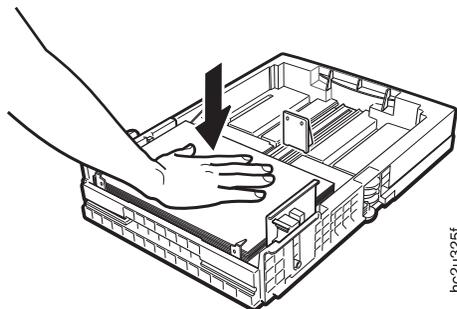
hc2u730F

8. A3 または 11 x 17 用紙をセットしている場合は、用紙を図で示すようにトレイに挿入します。用紙をすべての留めクリップの下に置くようにします。



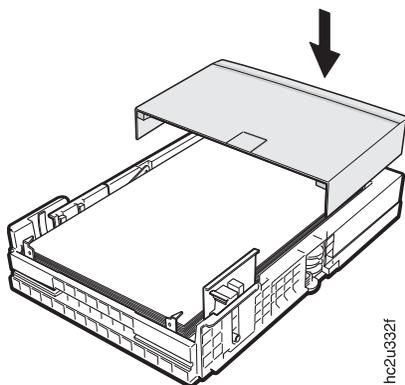
hc2u328f

9. A4 または レターサイズ用紙をセットしている場合は、用紙を図で示すようにトレイに挿入します。用紙をすべての留めクリップの下に置くようにします。



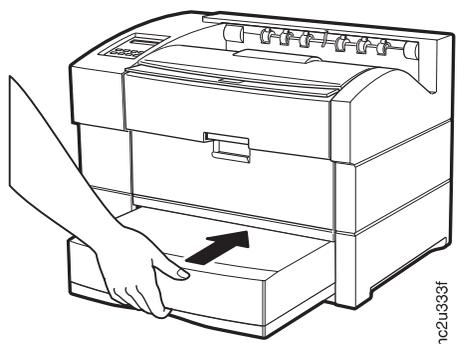
hc2u325f

10. トレイ・カバーを再び取り付けます。



hc2u332f

11. トレイをプリンターに押し入れ、カチッと音がして定位置にはまるまで押します。



hc2u333f

補助トレイの使用

補助トレイへの用紙のセット

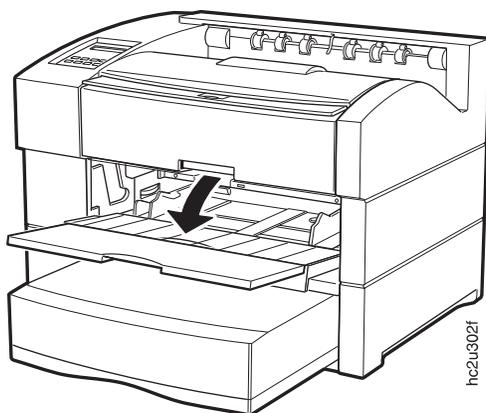
注

多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

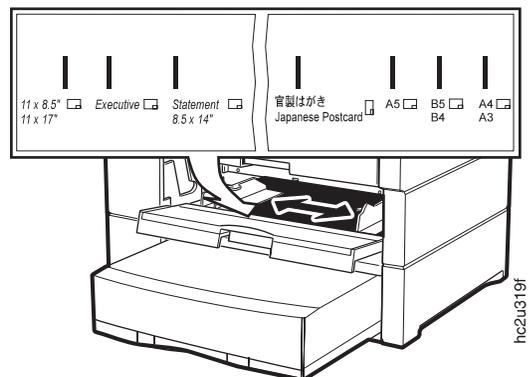
補助トレイを選択するには、ソースをホジヨに設定します (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

用紙を補助トレイにセットするには、次の手順を使用してください。

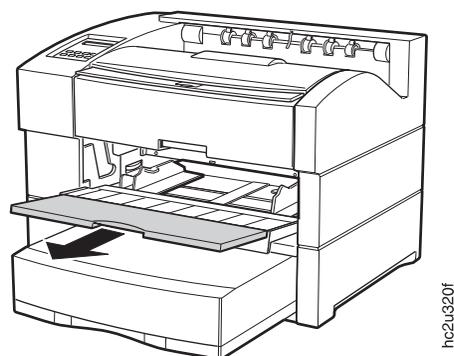
1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 33ページの『補助トレイの用紙仕様』を参照してください。
2. トレイの上部のラッチを静かに引き、トレイを開きます。



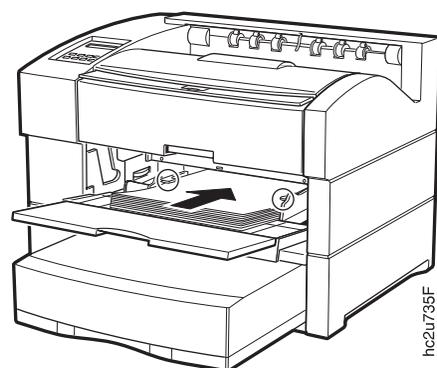
3. 用紙ガイドを調整し、使用しようとするサイズの用紙に合わせます。



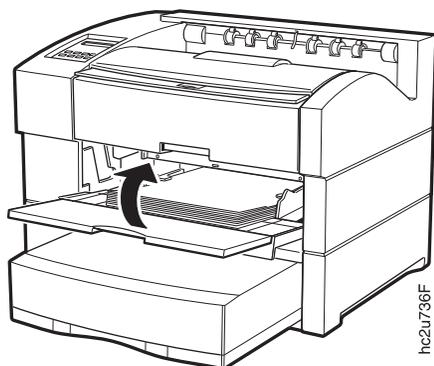
4. A3 または B4 サイズの用紙を使用するには、用紙トレイの拡張部分を引き出します。



5. 用紙を補助トレイに挿入し、用紙がトレイの向こうの端にあるストッパーに触れるまで入れます。用紙の印刷面を上にして入れます。



6. 用紙の長さが 210 mm より短い場合は、作動時に補助トレイを閉じることができます。



7. 印刷アプリケーションまたはヨウシメニューを使用してホジョサイズを設定し、補助トレイにセットした用紙サイズに合わせます (59ページの『補助トレイの用紙サイズの定義』を参照してください)。印刷ジョブで指定した値は、ユーザーがプリンターで設定した値を上書きします。補助トレイを省略時のソース・トレイとして選択するには、ヨウシメニューでソースをホジョに設定します (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

用紙を補助トレイに手動で送りたい場合は、印刷アプリケーションまたはヨウシメニューを使用して、マニュアルをオンに設定します (81ページの『ヨウシメニュー』を参照してください)。

補助トレイへの封筒のセット

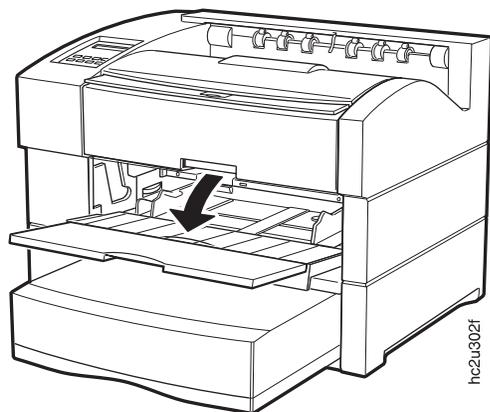
注

多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

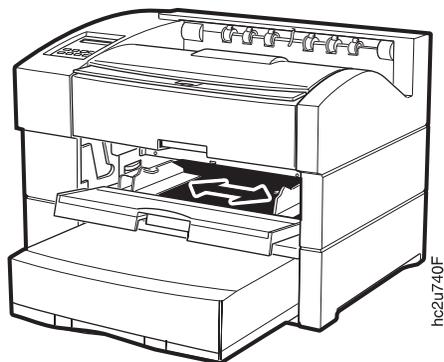
補助トレイを選択するには、ソースをホジョに設定します (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

封筒を補助トレイにセットするには、次の手順を使用してください。

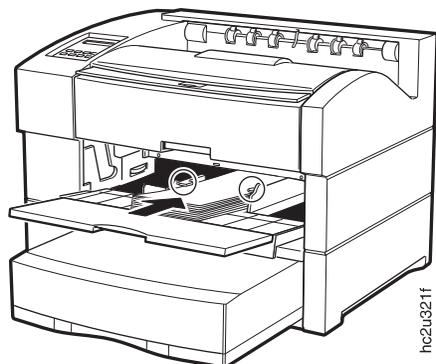
1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 33ページの『補助トレイの用紙仕様』を参照してください。
2. トレイの上部のラッチを静かに引き、トレイを開きます。

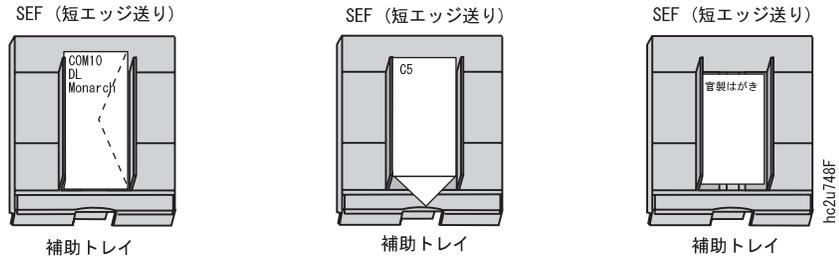


3. 用紙ガイドを調整し、使用しようとする封筒に合わせます。

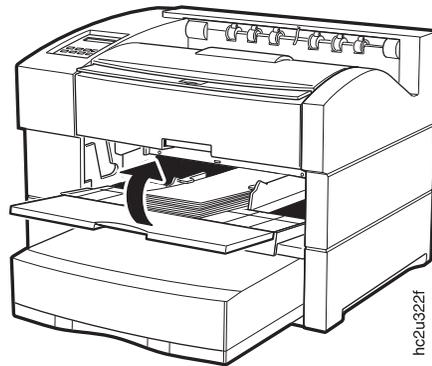


4. 封筒を補助トレイに挿入し、封筒がトレイの向こうの端にあるストッパーに触れるまで入れます。封筒の印刷面を上にして入れます。(フラップ側が下になるようにする必要があります。)





5. 封筒の長さが 210 mm より短い場合は、作動時に補助トレイを閉じることができます。



6. 印刷アプリケーションまたはヨウシメニューを使用してホジョサイズを設定し、補助トレイにセットした封筒サイズに合わせます (59ページの『補助トレイの用紙サイズの定義』を参照してください)。印刷ジョブで指定した値は、ユーザーがプリンターで設定した値を上書きします。補助トレイを省略時のソース・トレイとして選択するには、ヨウシメニューでソースをホジョに設定します (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

補助トレイへのカスタム用紙および封筒のセット

補助トレイは、次の範囲内にある任意の用紙または封筒サイズに印刷するのに使用することができます。

最小: 3.5 x 5.8 in (88 x 148 mm)

最大: 13 x 20 in (330 x 508 mm)

カスタム用紙に印刷するには、次のようにしてください。

1. ヨウシメニューのホジョサイズ項目を、用紙の場合は UNIV に、封筒の場合は UNI-ENV に設定します。
2. 印刷アプリケーションが適切なマージンを設定しているか確認します。プリンターは、補助トレイにセットされた用紙または封筒に合わせてデータを再び流すことはしません。
 - カスタム用紙用の最小の左右のマージンを決めるには、330 mm または 13 インチからカスタム用紙の幅を差し引き、2 で割ります。たとえば、カスタム用紙の幅が 230 mm である場合、サイド・マージンは次のように計算します。

- a. 330 mm からカスタム用紙の幅を差し引きます (330 mm - 230 mm = 100 mm)
- b. その結果を 2 で割ります (100 mm / 2 = 50 mm)

その場合、ユーザーのアプリケーションは、50 mm 以上の左右マージンを適用することになります。最小マージンは、用紙のエッジに印刷することに注意してください。たとえば、両側に 10 mm ずつマージンを残したい場合は、最小値に 10 mm を加えてください。

- 最小下部マージンを決めるには、508 mm または 20 インチからカスタム用紙の長さを差し引きます。たとえば、カスタム用紙の長さが 300 mm である場合、508 mm からカスタム用紙の長さを差し引きます (508 mm - 300 mm = 208 mm)。

その場合、ユーザーのアプリケーションは 208 mm 以上の下部マージンを適用することになります。ここでも、最小マージンは、用紙のエッジに印刷することに注意してください。ページの下部に追加のスペースを残したい場合には、それを最小値に加えます。

- 上部マージンについては、通常に使用するような値を使用してください。特別な計算は必要ありません。

3. IPDS アプリケーションから印刷している場合、次のようにします。

- a. カスタム用紙サイズを定義するには、カスタムヨウシメニューを使用します。カスタム用紙サイズは 5 つまで定義することができます。
- b. カスタムヨウシ項目を、使用したいカスタム用紙に設定するには、IPDS メニューを使用します。

4. 用紙は印刷面を上にして、上部エッジから先にセットします。

5. 封筒はフラップ側を下にしてセットします。

6. 大きなジョブを実行要求する前に、必ず何回かのテスト印刷を実行してください。

封筒トレイへの封筒のセット

注

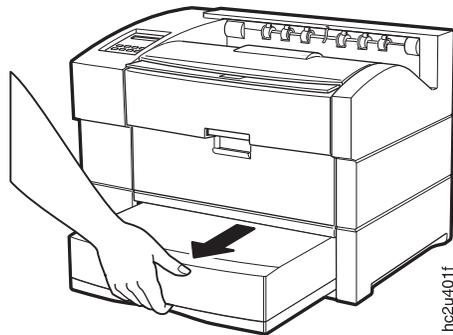
1. 封筒トレイがどの用紙トレイを置き換えるかに応じて、プリンターは封筒トレイをトレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 として参照します。
2. 多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

封筒トレイを選択するには、ソースをトレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 に設定してください (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

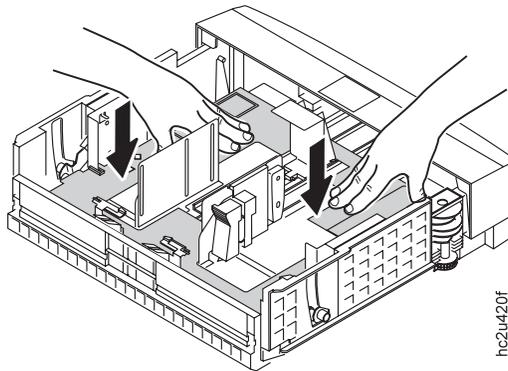
封筒を封筒トレイにセットするには、次の手順を使用してください (封筒トレイは 500 枚トレイに置き換えられます)。

1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 37ページの『封筒トレイの用紙仕様』を参照してください。

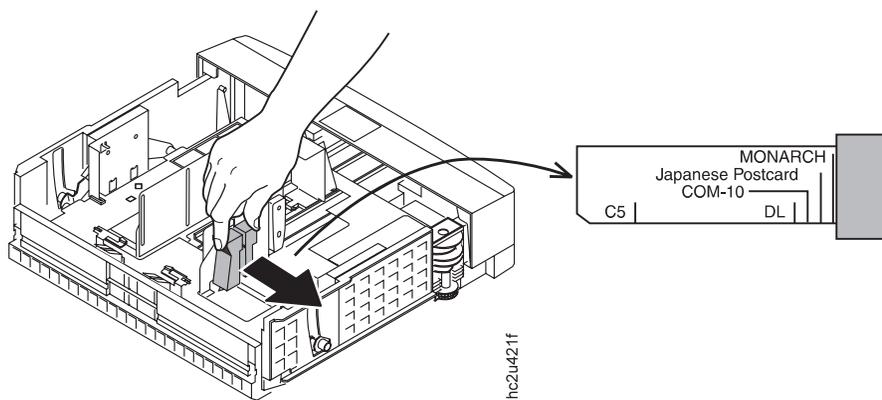
2. 封筒トレイをプリンターから取り外し、平な台の上に起きます。



3. 封筒トレイの下部プレートを押し下げ、定位置にカチッと音がしてはまるまで押します。

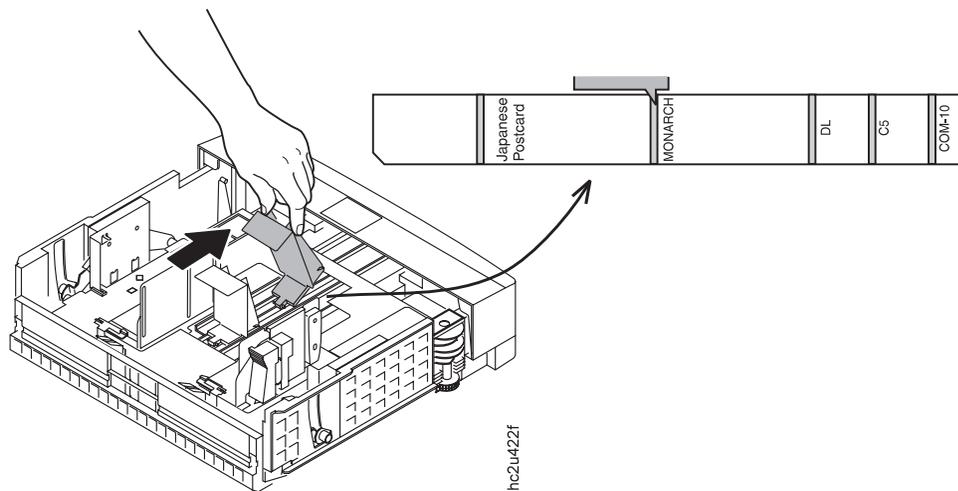


4. サイズ・ガイドを指で挟み、必要な封筒幅までずらします。



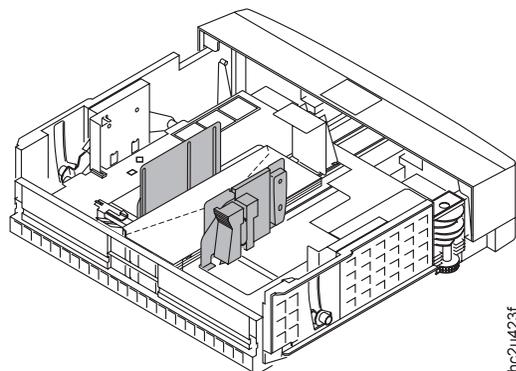
5. エンド・ガイドを少し前方に傾けながら、必要な封筒の長さまでずらしします。次に、ガイドを直立の位置に戻します。

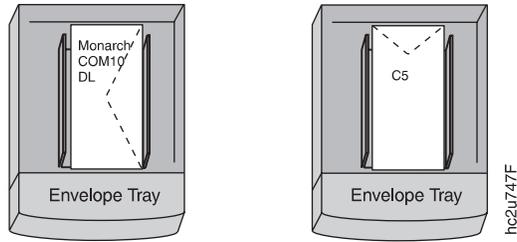
注： 封筒の長さを設定するには、エンド・ガイドの左側のポインターをトレイの下部のマーキングとそろえてください。



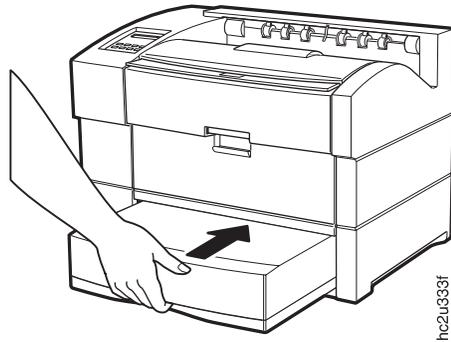
6. 次の図に示すように、閉じた封筒をフラップ側が下になるようにセットします。スタックがエンド・ガイド上のプラスチックのタブの下にあることを確認します。

注： 封筒トレイにセットする封筒の数が多過ぎると、紙詰まりが発生する恐れがあります。





7. 封筒トレイをプリンターに押し入れ、カチッと音がして定位置にはまるまで押します。



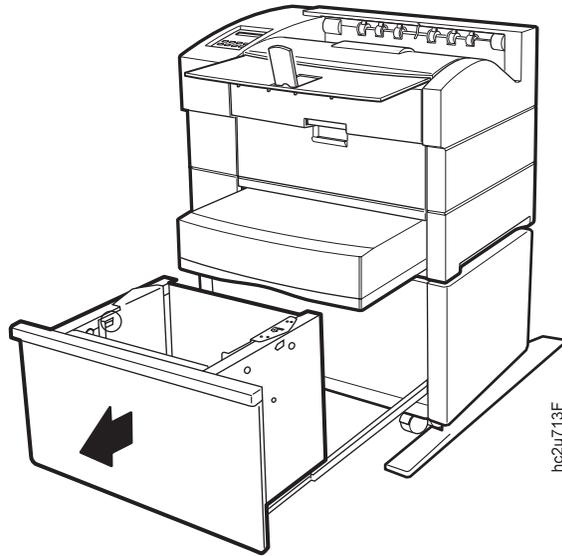
2000 枚入カドローへの用紙のセット

注

1. 2000 枚入カドローの上に 500 枚用紙トレイが 1 つあるか 2 つあるかに応じて、プリンターは 2000 枚入カドローをトレイ 2 またはトレイ 3 として認識します。
2. 多くのアプリケーションでは、使用したい入力トレイを指定することができます。この値は、プリンターで設定された値を上書きします。ユーザーのアプリケーションで入力トレイを選択できない場合は、ヨウシメニューを使用してトレイを選択してください。

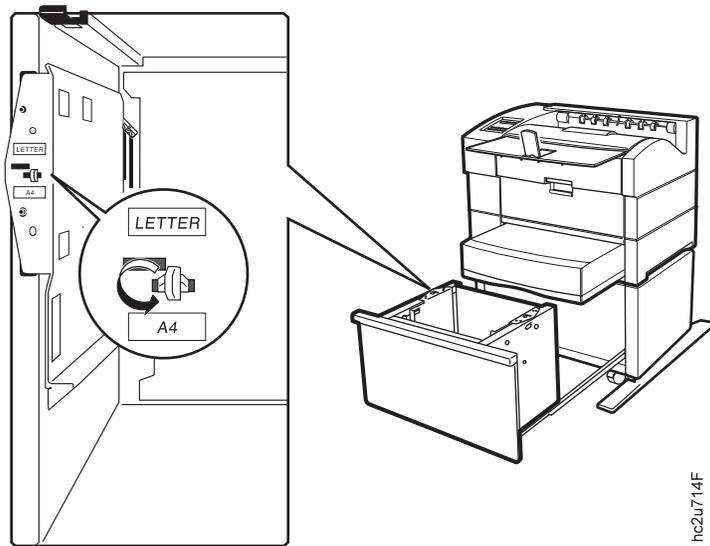
2000 枚入カドローを選択するには、ソースをトレイ 2 またはトレイ 3 に設定してください (58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください)。

1. セットすることができる媒体については、32ページの『用紙およびその他の印刷媒体の選択』および 37ページの『2000 枚入カドローの用紙仕様』を参照してください。
2. 2000 枚入カドローを開きます。

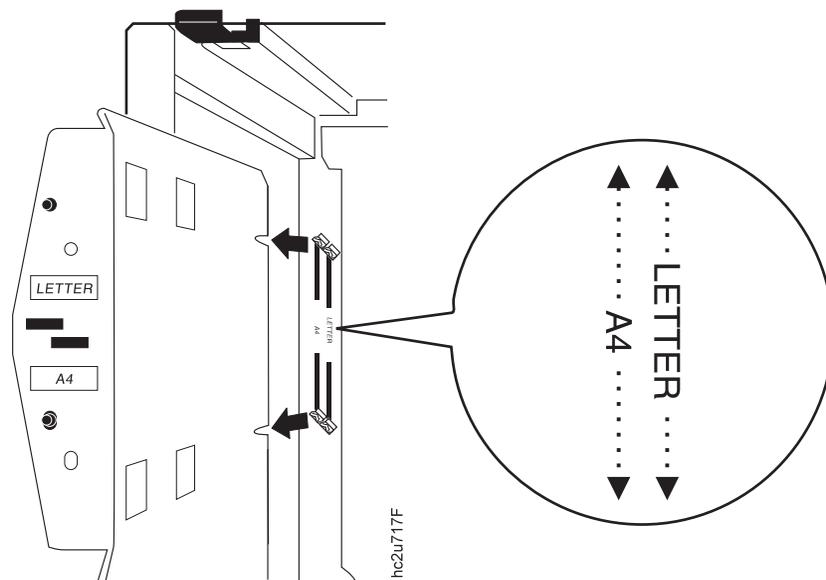


3. 用紙サイズ・ガイドが正しい用紙サイズに設定されていることを確認します。そうでない場合は、次のようにして用紙サイズ・ガイドを用紙のサイズに調整します。

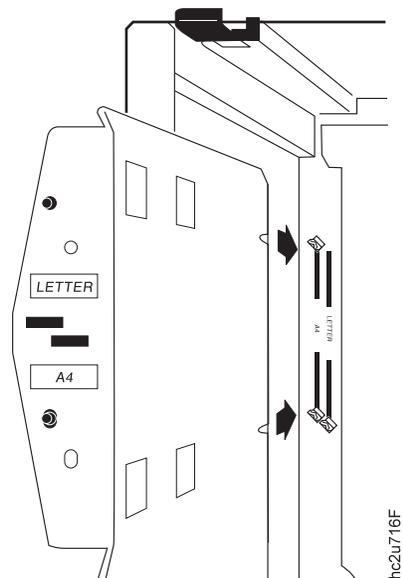
a. 左のガイドのロック・レバーを図に示すようにねじり、用紙サイズ・ガイドをロック解除します。



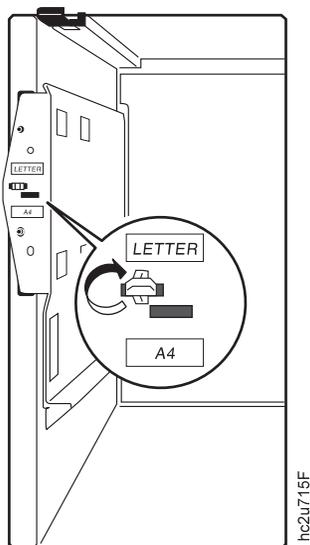
b. 用紙サイズ・ガイドをドロワーの下部にあるスロットから持ち上げて外します。



- c. ガイド・ロック・レバーをガイドの上部にある、ユーザーの用紙サイズに対応するスロットに合わせます。用紙サイズ・ガイドの下部にあるスロットをドロワーの下部にある、ユーザーの用紙サイズに対応するノッチへとはめ込みます。

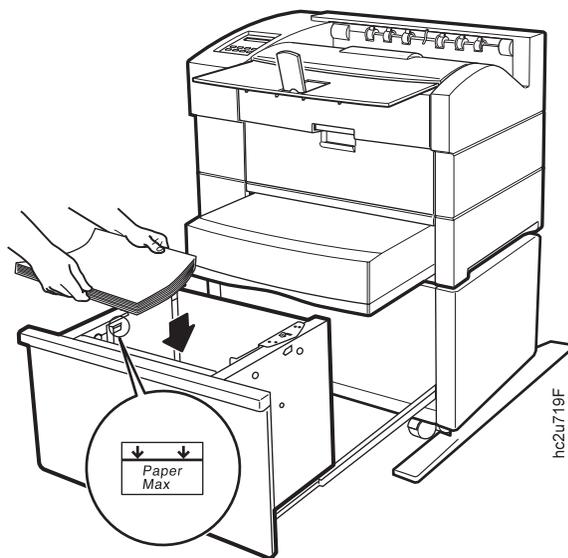


- d. ガイド・ロック・レバーを再びねじり、用紙サイズ・ガイドを定位置にロックします。

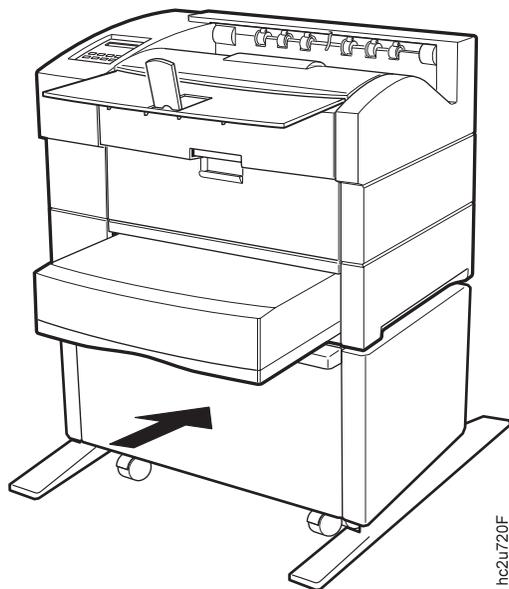


e. 正しい用紙サイズ・ガイドについて繰り返します。

4. 用紙のスタックを図で示すようにドロワーへと挿入します。ドロワー内の用紙のレベルは、用紙の最大ラインを超えてはなりません。



5. 2000 枚入カドローを閉じます。



一般の用紙取扱い作業

ここでは、操作パネル・メニューを使用して実行できる基本的な作業のいくつかを説明します。それらには以下のものが含まれます。

- 省略時の入力トレイを選択する
- 補助トレイによって使用される媒体サイズを定義する
- トレイ切り替えをオンおよびオフにする
- 片面印刷または両面印刷をプリンターの省略時値にする
- IPDS 用のカスタム・サイズを定義する

注: 使用するプリンター・ドライバーまたは印刷アプリケーションによって、用紙サイズ、入力トレイ、および手動送りなどの値を指定できる場合があります。印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバーによって設定した値は、ユーザーがプリンターで設定した値を上書きします。

省略時の入力トレイの選択

状況: プリンターの省略時の入力トレイを変更したい。

処置:

1. 表示域にオフラインと表示されるまで、オンライン・キーを押し続けます。
2. 表示域にヨウシメニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。

3. 表示域にソース= *source** が表示されるまで、項目キーを押し続けます。この場合、*source* は現在の省略時値を示します。
4. 省略時値として使用したい入力トレイが表示されるまで、値キーを押し続けます。
5. 設定キーを押して新しいトレイを選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
6. プリンターを印刷可能状況に復元するには、オンライン・キーを押します。

注: 印刷ジョブで指定した値は、プリンターで設定された省略時値を上書きします。たとえば、印刷ジョブがトレイ 1 を要求する場合、省略時のトレイが別のものに設定されていた場合でも、プリンターはトレイ 1 を使用します。

補助トレイの用紙サイズの定義

状況: 補助トレイに新しい用紙サイズを選択したい。

処置:

1. 表示域にオフラインと表示されるまで、オンライン・キーを押し続けます。
2. 表示域にヨウシメニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。
3. 表示域にホジョサイズ= *size** が表示されるまで、項目キーを押し続けます。この場合、*size* は現在の省略時値を示します。
4. 選択したい新しい値が表示されるまで、値キーを押し続けます。

注: メニューにない用紙サイズを選択するには、UNIV を選択してください。メニューにない封筒サイズを選択するには、UNI-ENV を選択してください。詳しくは、50ページの『補助トレイへのカスタム用紙および封筒のセット』を参照してください。

5. 設定キーを押して新しいサイズを選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
6. プリンターを印刷可能状況に復元するには、オンライン・キーを押します。

トレイ切り替えのオンおよびオフ

状況: トレイ切り替えをオンまたはオフにしたい。切り替えをオン (省略時値) にすると、プリンターは、現在のトレイが空であるか、トレイにそのジョブによって指定された用紙サイズがなくなった場合に、正しいサイズの用紙が入った別のトレイを自動的に探します。検索順序は次のとおりです。

- ジョブによって選択されたトレイ、あるいはジョブがトレイを指定していない場合は、プリンターの省略時トレイ
- トレイ 3 (取り付けられている場合)
- トレイ 2 (取り付けられている場合)
- トレイ 1
- 補助トレイ

トレイ切り替え探索順序からトレイを除外することができます。ヨウシメニュー項目のトレイ 1 ホゴ、トレイ 2 ホゴ、トレイ 3 ホゴ、およびホジョトレイ ホゴの説明 (81ページの『ヨウシメニュー』) を参照してください。

処置:

1. 表示域にオフラインと表示されるまで、オンライン・キーを押し続けます。
2. 表示域にヨウシメニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。
3. 表示域にトレイ・スイッチ=オン* またはトレイ・スイッチ=オフ が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
4. 選択したい新しい値が表示されるまで、値キーを押し続けます。
5. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
6. プリンターを印刷可能状況に復元するには、オンライン・キーを押します。

両面印刷または片面印刷をプリンターの省略時値にする

状況: 両面印刷ユニットを取り付けてあり、両面印刷または片面印刷をプリンターの省略時値にしたい。

処置:

1. 表示域にオフラインと表示されるまで、オンライン・キーを押し続けます。
2. 表示域にヨウシメニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。
3. 表示域にリヨウメン=オン* またはリヨウメン=オフ が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
4. 選択したい新しい値が表示されるまで、値キーを押し続けます。
5. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
6. プリンターを印刷可能状況に復元するには、オンライン・キーを押します。

注:

1. 印刷ジョブに設定された値 (印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバーによって) は、ユーザーがプリンターで設定した値を上書きします。印刷ジョブが片面印刷を指定したが、プリンターの省略時値が両面印刷である場合、プリンターは印刷ジョブの設定値を優先し、片面にだけ印刷します。
2. ヨウシメニューのバインディング項目により、両面印刷ジョブをどのように印刷したいか指定することができます。バインディングがチョウ (省略時値) に設定されると、ジョブは用紙の長い方の側がバインドされるように印刷します。(縦長の文書の場合は左側でバインド、横長の文書の場合は上側でバインド。) バインディングをタンに設定すると、ジョブは用紙の短い方の側がバインドされるように印刷します。(縦長の文書の場合は上側でバインド、横長の文書の場合は左でバインド。)

3. 両面印刷ユニットを取り付けた場合は、印刷ドライバーを使用して、ジョブのオフセットを要求することもできます。ただし、ジョブが IPDS アプリケーション (PostScript または PCL でないもの) から送られ、用紙幅が 297 mm より短い場合を除き、カスタム用紙をオフセットすることはできません。

IPDS 用のカスタム用紙サイズの定義

状況: IPDS ジョブ用のカスタム用紙サイズを定義したい。

注: カスタム用紙は 5 つまで定義することができます。次の手順は、最初の用紙 (ヨウシ 1) を定義する方法を示しています。

処置:

1. 表示域にオフラインと表示されるまで、オンライン・キーを押し続けます。
2. 表示域にカスタムヨウシメニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。
3. 計測単位を選択します。
 - a. 表示域にヨウシ 1 タンイ= MM^* またはヨウシ 1 タンイ= IN^* が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
 - b. 選択したい値 (MM または IN) が表示されるまで、値キーを押し続けます。
 - c. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
4. 用紙の長さを定義します。
 - a. 表示域にヨウシ 1 ナガサ= mm^* が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
 - b. 選択したい新しい値が表示されるまで、値キーを押し続けます。
 - c. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
5. 用紙の幅を定義します。
 - a. 表示域にヨウシ 1 ハバ= mm^* が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
 - b. 選択したい新しい値が表示されるまで、値キーを押し続けます。
 - c. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。
6. IPDS メニューで用紙を指定します。
 - a. 表示域に IPDS メニューと表示されるまで、メニュー・キーを押し続けます。
 - b. 表示域にカスタムヨウシ= n^* が表示されるまで、項目キーを押し続けます。
 - c. 表示域にカスタムヨウシ= l^* が表示されるまで、値キーを押し続けます。
 - d. 設定キーを押して新しい設定値を選択します。その値の右側にアスタリスクが表示され、その値がアクティブであることを示します。

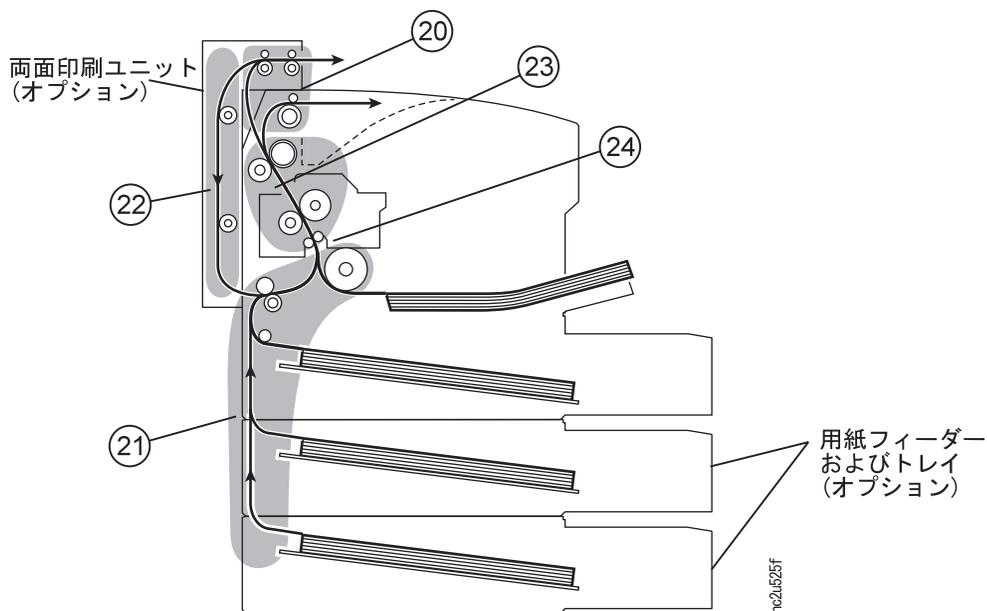
7. プリンターを印刷可能状況に復元するには、オンライン・キーを押します。

注: 幅が 297 mm (11.69 in) より広いカスタム用紙は、両面印刷ユニットを使用してオフセットすることはできません。

第5章 紙詰まりの解消

プリンターの内部で紙が詰まると、印刷が停止し、エラー・メッセージがジャムの位置を示します。

エラー・メッセージ	次の位置をチェックしてください
20 カミズマリ	用紙出口域のあたり (64ページの『主な用紙経路のジャム』を参照)
21 カミズマリ	用紙トレイとトナー・カートリッジの間 (64ページの『主な用紙経路のジャム』を参照)
22 カミズマリ	両面印刷ユニットのあたり (72ページの『両面印刷ユニットのジャム』を参照)
23 カミズマリ	フューザー域内 (69ページの『フューザー域のジャム』を参照)
24 カミズマリ	トレイ 1 とトナー・カートリッジの間 (64ページの『主な用紙経路のジャム』を参照)
26 カミズマリ	2000 枚入カドロー内 (74ページの『2000 枚入カドローのジャム』を参照)



紙詰まりの典型的な原因

紙詰まりの最も一般的な原因は、次のとおりです。

- 用紙が正しくセットされていない。
- 印刷媒体が仕様に適合していない。

- 用紙ガイドが現行の用紙サイズに合わせて調整されていない。
- 用紙にしわがあるか、カールしている。
- プリンターが水平でない。

取扱い上の予防策

詰まった用紙を取り除くときは、紙切れまたは紙のほこりがプリンター内に残らないようにしてください。プリンター内に紙のかすがあると、火災が起きる危険があります。紙を取り除くことができないう、紙がフューザーまたはローラーの回りに固く巻き付いている場合は、無理に取り除こうとしないでください。販売店またはサービス技術員にご連絡ください。

フューザーとその周辺の部品には、高温警告ラベルが貼られており、これらの部品に触れてはならないことを示しています。このラベルははがさないでください。

紙を無理に取り除こうとしないでください。紙が見えにくい、つかみにくい、構成要素の回りに固く巻き付いている場合は、販売店またはサービス技術員にご連絡ください。

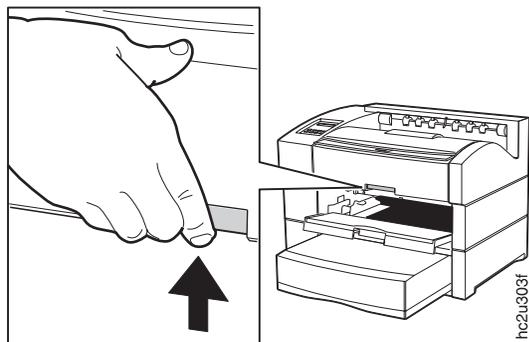
紙が裂けないようにするため、詰まった紙はゆっくりと注意深く取り除いてください。

手順

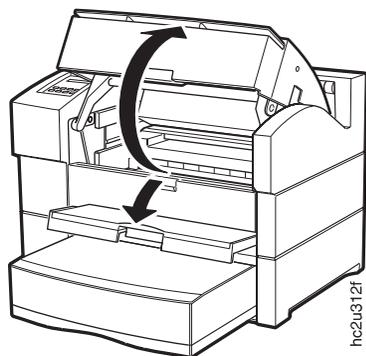
以下の項では、プリンターのいろいろな場所から紙詰まりを解消する方法を説明します。プリンターは、紙詰まりを検出すると、メッセージを表示します。ただし、用紙が用紙経路の1つの場所に詰まると、多くの場合、別の場所でも用紙が詰まってしまうことに注意してください。したがって、紙詰まりのメッセージが出された場合は、用紙経路全体をチェックするようにしてください。

主な用紙経路のジャム

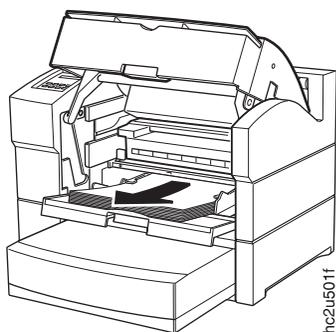
1. 上部カバーの解放ボタンを押します。



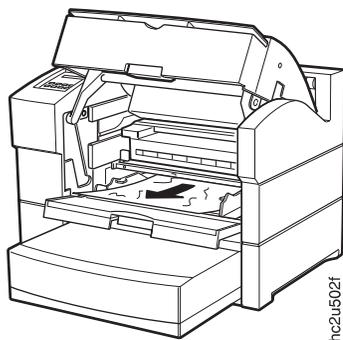
2. 上部カバーを開きます。



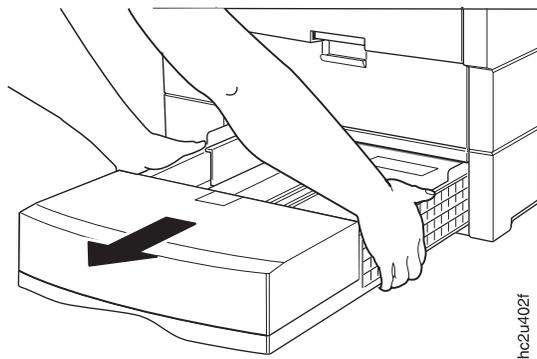
3. 紙が補助トレイから送られた場合は、そのトレイからすべての紙を取り除きます。



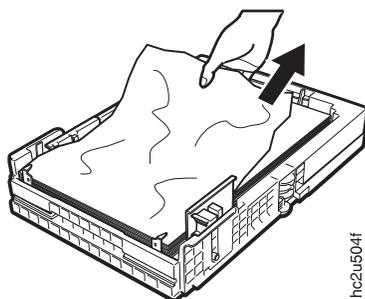
4. 補助トレイの向こう側の端 (プリンターの内部) をチェックし、詰まった紙があれば取り除きます。



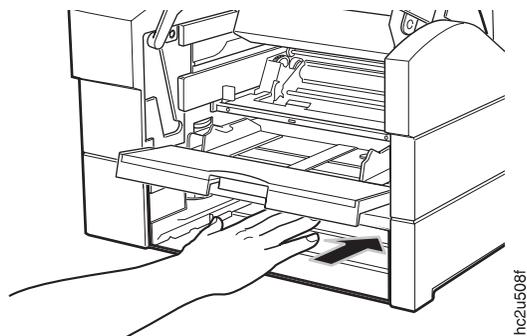
5. 紙が 500 枚トレイから送られた場合は、500 枚トレイを止まるまで引き出し、静かに持ち上げ、プリンターから取り外します。



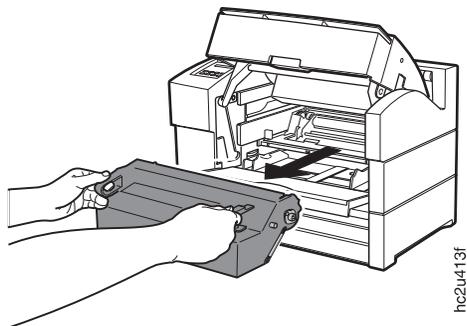
6. トレイ内にしわのある紙がある場合は、それを取り除きます。



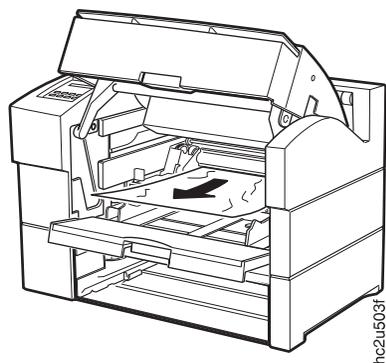
7. トレイ域内から詰まった紙をすべて取り除きます。



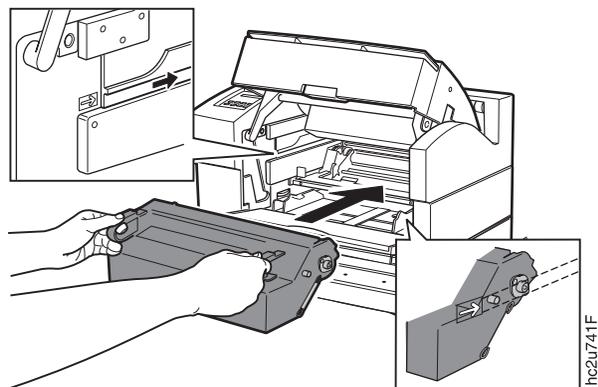
8. トナー・カートリッジを取り外します。



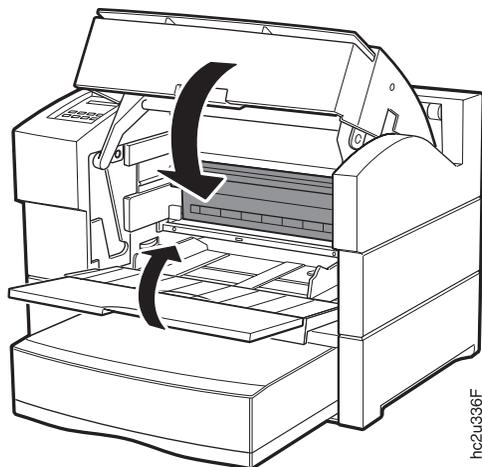
9. トナー・カートリッジがあった区域をチェックし、詰まった紙があれば取り除きます。



10. 図で示すようにトナー・カートリッジをつかみます。カートリッジをプリンター・ガイド・チャンネルに押し入れます。トナー・カートリッジが安定するように、カートリッジの両端を静かに押して、カートリッジが止まるまで押し入れます。

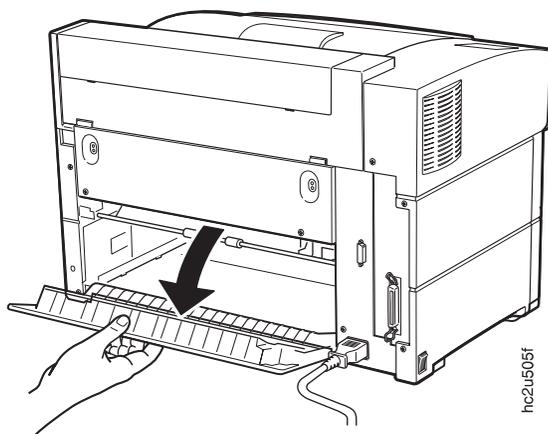


11. トレーを再びプリンターに押し入れ、カチッと音がして定位置にはまるまで押します。次に補助トレイおよび上部カバーを閉じます。

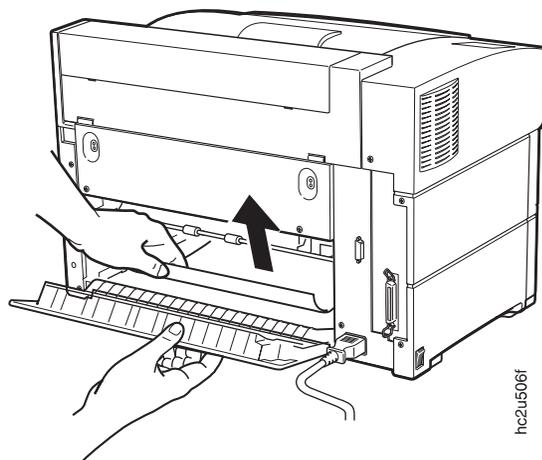


12. プリンターの後部カバーを開きます。

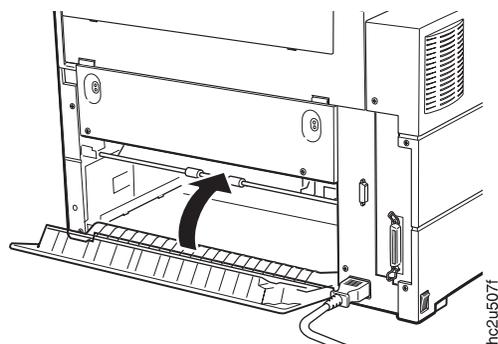
注: トレイ 2 およびトレイ 3 の後部カバーは開くことができません。紙がトレイ 2 またはトレイ 3 から送られた場合は、トレイを取り外し、内側に手を入れて詰まった紙があれば取り除くことにより、ジャムを解消してください。



13. 詰まった紙があれば取り除きます。後部カバーを開いたまま、紙を引き出します。



14. 後部カバーを閉じます。カバーの中央を押し、カバーが正しく閉じるようにします。



15. 操作パネルにインサツカノウが表示されることを確認します。

注: 紙詰まりが補助トレイまたは 500 枚トレイにのみある場合、カバーが開かれ、再び閉じられるまで、エラー・メッセージは消えません。紙詰まりの後プリンターから出てくる次のシートは汚れていることがありますが、汚れは数枚の後消えるはずですが。

フューザー域のジャム

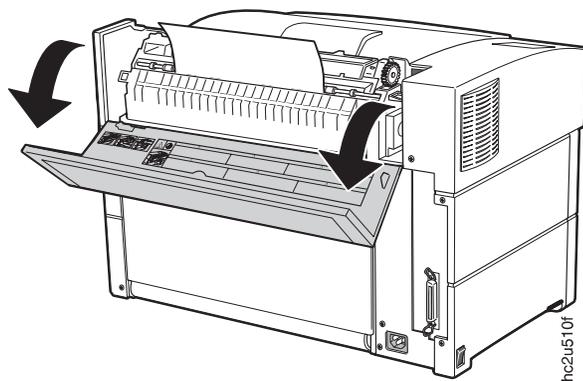
1. プリンターに両面印刷ユニットが付いている場合は、それを取り外します。152ページの『両面印刷ユニットの取り外し』を参照してください。
2. フューザー・カバーを開きます。



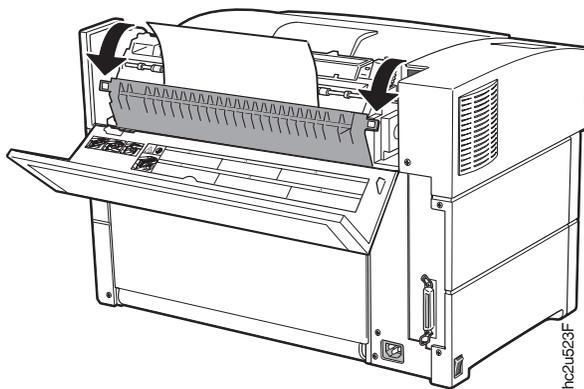
注意:

<2-25> 高温。作業を始める前に、この区域の部品を冷やすためにプリンターの電源をオフにしてから少くとも 40 分間放置してください。

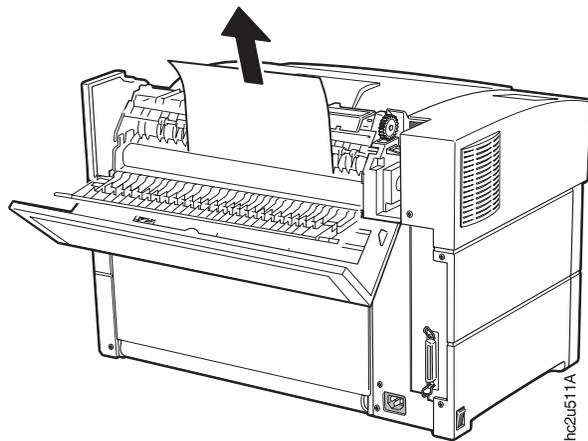
hesf0225



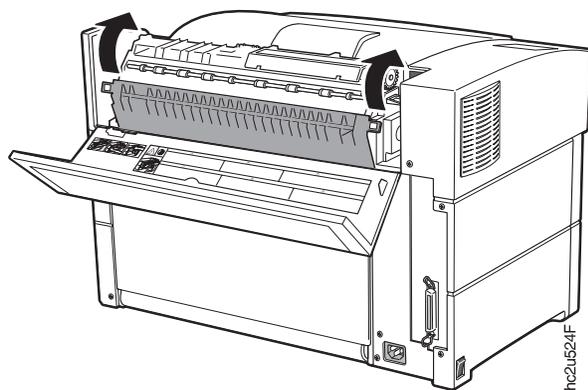
3. フューザー・ジャム・アクセス・カバーを開きます。



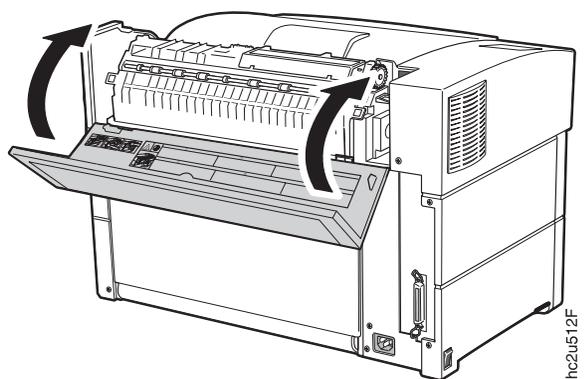
4. 詰まった紙があれば取り除きます。



5. フューザー・ジャム・アクセス・カバーを閉じます。



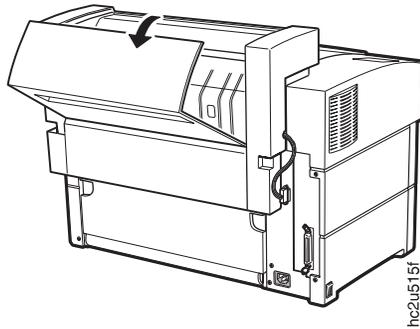
6. フューザー・カバーを閉じます。



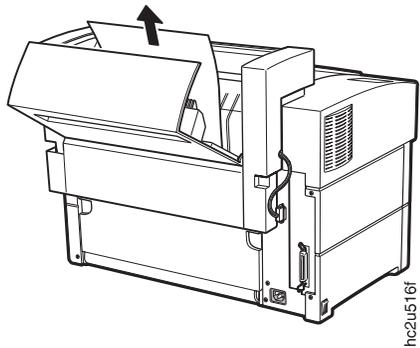
7. 両面印刷ユニットを取り外した場合は、それをここで再び取り付けます。148ページの『両面印刷ユニットの取り付け』を参照してください。
8. 操作パネルにインサツカノウが表示されることを確認します。

両面印刷ユニットのジャム

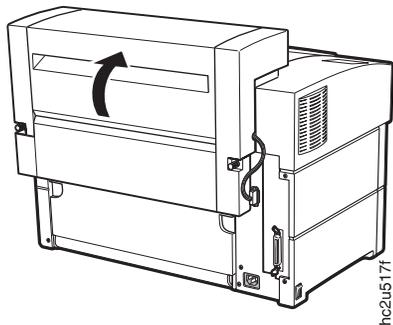
1. 両面印刷ユニットの上部カバーを手前に引き、それを開きます。



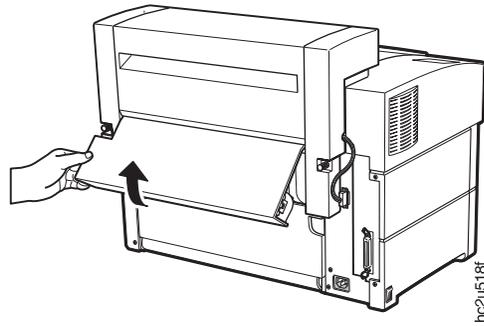
2. 詰まった紙があれば、紙の両端をつかんで、注意深く引き出します。



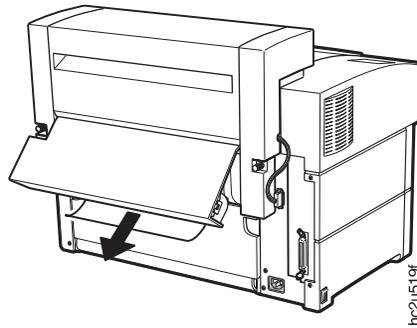
3. 両面印刷ユニットの上部カバーを閉じます。



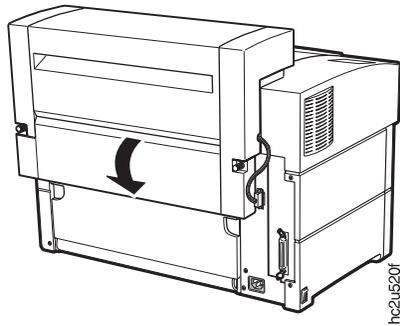
4. 両面印刷ユニットの下部カバーを手前に引き、それを開きます。



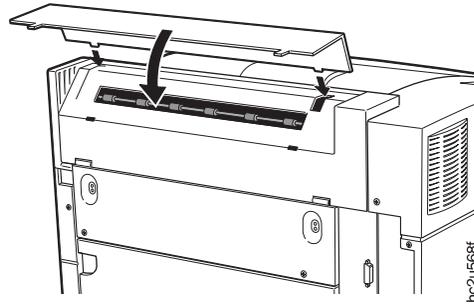
5. 詰まった紙があれば、紙の両端をつかんで、注意深く引き出します。



6. 両面印刷ユニットの下部カバーを閉じます。

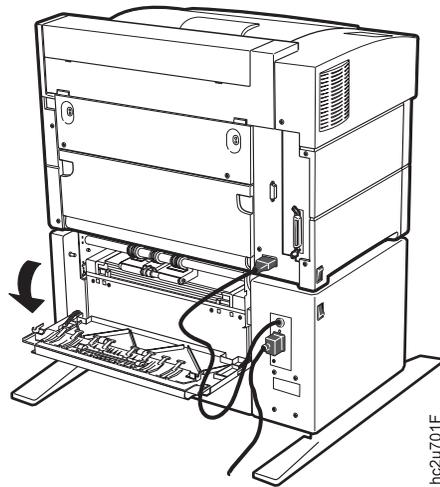


重要: 両面印刷ユニットを取り外しても、それを再び取り付けない場合は、カバーを取り付けてください。両面印刷ユニットが取り外されている場合は、カバーを付けずにプリンターを使用してはなりません。

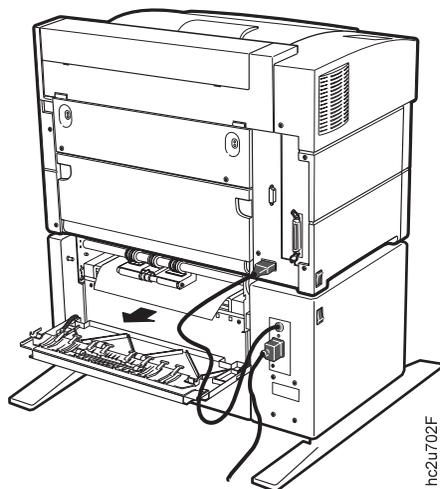


2000 枚入カドローのジャム

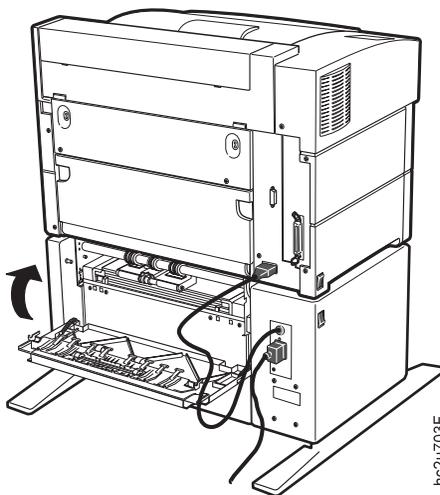
1. 2000 枚入カドローの後部カバーを開きます。



2. 詰まった紙があれば取り除きます。



3. 後部カバーを閉じます。



4. プリンターの上部カバーを開いてから閉じると、ジャム・メッセージが消去されます。

